

報かなぎ

平成15年4月号 No.444



元気に「おはようございます！」

4月7日、川倉小学校の入学式。新入生4人が控室で小学校生活の最初の共同活動となった担任の先生へ朝のあいさつ。



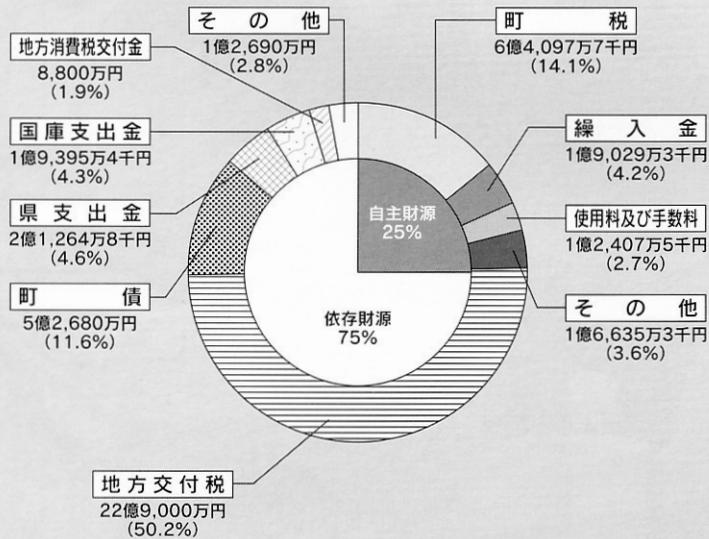
平成15年度一般会計、特別会計の各当初予算が第183回金木町議会定例会(3月議会)で議決されました。
 平成15年度一般会計予算は、歳入面において、近年の景気低迷と国の厳しい財政状況を反映して町民税、各交付金及び国県支出金の減額が見込まれ、また、一般財源の大半を占める地方交付税においては段階補正の見直しや臨時財政対策債への振替により、前年度当初予算に対し2億4,000万円の大減額となりました。

歳出面においては、国の施策に呼応した一連の経済対策や観光施設、福祉施設の整備などのために借り入れた地方債の元利償還金が増加し、また、平成15年から知的障害者厚生施設入所費等への負担金が増加するなど、義務的経費の増加が財政の硬直化を一段と加速させています。

こういった厳しい財政状況のもと、当初予算編成に当たっては、財政の健全性を確保しつつ地域住民に対する行政サービスの向上を図ることを第一義に、経常的経費の削減や行政の各分野を通じた事務事業の見直しを行うことにより、限られた財源の有効活用に努めたところ、予算規模は歳入歳出それぞれ45億6,000万円となり、前年度当初予算に対して1億9,873万円、4.2%の減となりました。

一般会計歳入の内訳

【財源別】



【町税の内訳】

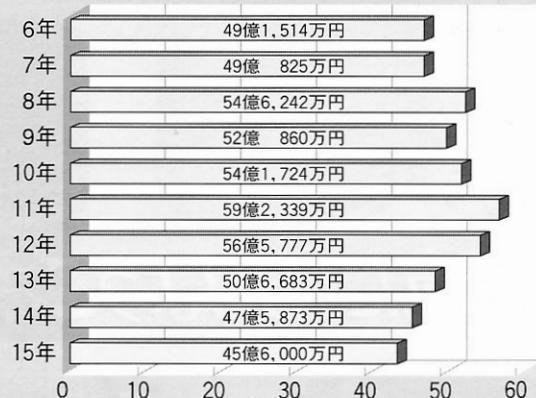
区分	金額 (単位:千円)	町民1人当たりでは (単位:円)
町民税	217,604	18,380
固定資産税	320,442	27,067
軽自動車税	20,616	1,741
町たばこ税	82,315	6,953
計	640,977	54,141

※ 1人当たりの金額は、2月末現在の町の人口11,839人で計算したものです

今年度の主要施策

- 地方バス路線維持際策 1,056万9,000円
- 合併対策費 1,685万1,000円
- 知的障害者支援事業 9,993万8,000円
- 生活支援ハウス運営事業 594万4,000円
- 在宅介護支援センター運営事業 728万3,000円
- 温室ハウス設置事業 748万7,000円
- あおもり施設農業拡大対策事業 1,223万9,000円
- 中山間地域等直接支払制度推進事業 2,905万7,000円

過去10年間の当初予算の推移



平成15年度 当初予算

町民の福祉と所得の向上のために

一般会計
歳入歳出

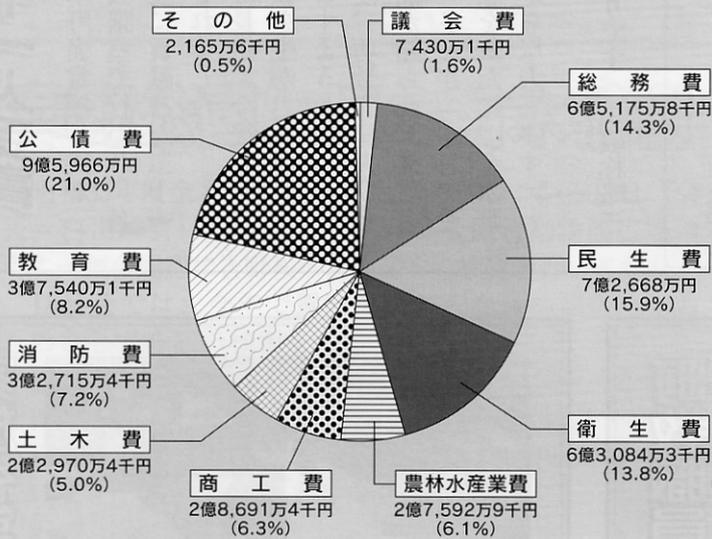
45億6,000万円

でスタート

(前年度比4.2%の減)

一般会計歳出の内訳

【目的別内訳】



【性質別内訳】

(単位：千円、%)

区分	金額	比率
義務的経費	人件費	1,311,954 (28.8)
	扶助費	254,387 (5.6)
	公債費	959,660 (21.0)
投資的経費	普通建設事業	316,835 (6.9)
	災害普及事業	10 (0.0)
その他の経費	物件費	449,880 (9.9)
	維持補修費	86,252 (1.9)
	補助費等	815,188 (17.9)
	積立金	7,255 (0.2)
	投資及び出資金貸付金	24,590 (0.5)
	繰出金	328,680 (7.2)
	予備費	5,309 (0.1)
	計	4,560,000 (100.0)

特別会計予算

特別会計名	当初予算	前年度当初予算	増減率
国民健康保険	13億6,907万5千円	13億2,061万2千円	3.7%
老人保健	11億3,359万9千円	9億7,553万5千円	16.2%
農業集落排水事業	1億4,236万2千円	1億7,302万6千円	▲17.7%
介護保険	8億6,689万1千円	8億2,536万1千円	5.0%
水道事業	2億8,752万9千円	2億9,140万9千円	▲1.3%

- ◎ 生産調整協力奨励券交付事業 1,108万9,000円
- ◎ 駅前通り街灯整備事業 760万円
- ◎ 交流プラザ整備事業 1億7,193万4,000円
- ◎ 道路維持改良事業 2,524万5,000円
- ◎ 蒔田1線整備事業 800万円
- ◎ 公営住宅用地造成事業 2,077万4,000円
- ◎ 外国青年招致事業 469万3,000円

平成14年度 金木町褒賞



一団体二十一人受賞

平成十四年度金木町褒賞授与式が三月十九日、役場大会議室で行われ、各分野で活躍し町発展に貢献した二十一人と一団体が表彰されました。

授与式では鳴海町長が「今後とも豊富な識見と尊い経験を生かし、なお一層のご尽力を賜りますようお願いいたします」と式辞。この後、功労者一人ひとりに褒賞状と記念品が贈られ、受賞者を代表して工藤栄一さんが「本日の受賞を契機とし、決意を新たに、金木町発展のため微力ながら尽力します」と謝辞を述べました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- ◎自治功労褒賞
 褒賞規則第三条第三号
 田中良治(農業委員の功労)
- ◎特別功労褒賞
 褒賞規則第四条第三号
 横山キヨ(産業振興の功労)
 工藤栄一(交通安全の功労)
 秋元年一(交通安全の功労)
 澤田スゲ(同)
 嘉瀬交通安全協会婦人部(同)
- 褒賞規則第四条第四号
 前田和子(民生員の功労)
 菊池テイ子(保健協力員の功労)
 土岐和子(同)

- 外崎 きみよ(同)
 原田 きみえ(同)
 松川 禮子(同)
 元石 美枝(同)
 田中 留美子(献血の功労)
 加賀谷 尚(同)
 木田 康之(同)
 浅利 清美(同)
 今正 樹(同)
 中谷 委弘(同)
- 褒賞規則第四条第五号
 加藤 磐(納税貯蓄の功労)
 加藤 勇(消防の功労)
 葛西 博美(同)

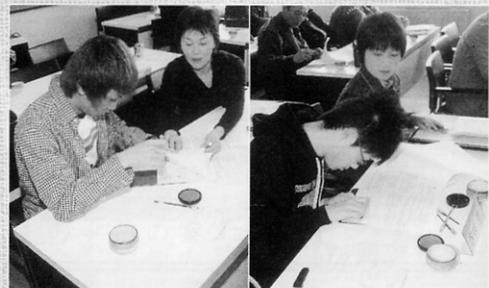


町教職員合同着任式

4月3日、当町に赴任した小中学校教職員の合同着任式が役場大会議室で行われました。

式には金木小学校5人、川倉小学校3人、嘉瀬小学校5人、喜良市小学校2人、金木中学校3人、金木南中学校6人の先生方が出席。はじめに鳴海町長と山中教育委員長が歓迎のあいさつ。続いて着任した教職員と町教育委員会事務職員の自己紹介が行われました。

最後に着任者を代表して、金木小学校の葛西校長が「金木町の子供たちの夢を大いにいかしながら、誠心誠意がんばっていきたい」とあいさつしました。



家族経営協定調印式

農業経営において家族間の役割分担や報酬、休日など文書で取り決める家族経営協定調印式が3月18日、中央公民館で行われました。

この日、三濁農業委員会長と大寺金木地域農業改良普及センター所長の立会いで、新規4組と見直し3組の7家族が協定書に調印。これで当町における家族経営協定締結農家は県内最多の38戸になりました。

調印を終えた農家を代表して桑田哲明さんが「家族経営協定の和が広がることによって、農業のイメージが変わり、担い手や花嫁不足等の解消につながると思います」とあいさつしました。

